

インターネット上の危険から子どもたちを守る第一の力は、家庭の力で 子どもたちに正しい情報モラルを 教えましょう

急速な情報化の進展の中で、子どもたちの周りにもコンピュータや情報通信ネットワークなどの様々な情報手段があふれています。これらは大変便利である反面、多くの危険性もはらんでいます。

【問合せ】教育指導担当/5階 ☎(3228)5589 FAX(3228)5682



子どものインターネット利用に伴うトラブル・危険急増中



現在、学校や教育委員会では、「情報モラル教育」に力を入れています。これは、子どもたちに、たくさんの情報の中から必要な情報を選ぶ力や、コミュニケーションの手段として情報手段を活用する力を身に付けさせるためです。

しかし、日常生活に密着したインターネットの危険から子どもたちを守るために、最も大切なのは家庭の力です。ネット上の危険から子どもを見守る合言葉(右記)を参考に、子どもの異変にいち早く気づき、トラブルを未然に防げるよう、家庭での話し合いやルール作りをしていきましょう。

ネット上の危険から子どもを見守る合言葉 ふりかけソルト

保護者向けの合言葉

- ふ**…フィルタリングを利用しましょう
- り**…利用状況を確認しましょう
- か**…家庭でのルール作りをしましょう
- け**…携帯型ゲーム等もネットができます

青少年向けの合言葉

- ソ**…相談をする
- ル**…ルールやマナー、法令を守る
- ト**…匿名でないことを理解する

平成26年度子ども教育費予算で 子どもたちの学びと育ちを 支援します

平成26年度の子ども教育費予算額は、253億6,790万円となりました。区の一般会計に占める割合は21.0%です。前年度と比較すると、19億1,793万4千円、7.0%の減額となっています。主な要因は、中野中学校建設工事の終了やキッズ・プラザ及び学童クラブ事業に係る経費を地域支えあい推進費へ移管したことなどです。

【問合せ】企画財政担当/5階 ☎(3228)5610 FAX(3228)5679

子ども教育部・教育委員会事務局では、「中野区教育ビジョン(第2次)」に掲げる目標の達成に向けて、学校施設の安全対策や区立学校の再編、特別支援学級の整備などの教育環境の整備を進めていきます。平成26年度に実施する、教育に関する主な事業は以下のとおりです。

学校施設の 安全対策

子どもたちが安全、安心に学べるよう、学校施設の耐震化などの安全対策を進めます。(予算額9億9,589万2千円)

- 耐震補強工事
(桃園小学校、向台小学校、上高田小学校、第四中学校、第五中学校体育館)
- 体育館等安全点検
つり天井調査：谷戸小学校、第二中学校、第八中学校
バスケットゴール等点検：小・中学校33校

区立学校の 再編

中野区立小中学校再編計画(第2次)に基づき、円滑な学校再編を推進します。(予算額128万5千円)

特別支援学級の 整備

平成26年度末に廃止予定の中野本郷小学校の特別支援学級(弱視)の跡施設を活用し、特別支援学級(情緒障害等)を整備します。開設は平成27年4月を予定しています。(予算額655万2千円)

区立図書館 サービスの 充実

区立図書館システムのリプレースを行い、検索機能の強化などサービスの充実を図ります。(予算額1億564万円)

区立幼稚園の 保育室等の 冷房化

区立幼稚園の保育室・多目的室に冷房を設置します。(予算額2,297万8千円)

その他に谷戸小学校のエレベーター設置工事経費(5,504万3千円)、小・中学校の特別教室の冷房化工事経費(4,820万円7千円)、子ども関連経費として、保育園の待機児童対策経費(9億470万7千円)、区立保育園へのAED(自動体外式除細動器)設置経費(364万6千円)等を計上しています。